

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		大都市交通センサス実施経費		担当部局庁	総合政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		昭和35年度～		担当課室	交通計画課		課長 水嶋 智	
会計区分		一般会計		施策名	36 市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		大都市交通センサスは、昭和35年より5年毎に首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏における大量公共交通機関の利用実態を把握するために実施している調査であり、広域交通圏における公共交通ネットワークの利便性の向上、交通サービスの改善等の公共交通政策の検討に資する基礎資料とすることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		大都市交通センサスは、3年間にわたる調査を予定している。第11回調査として、平成22年度は実態調査、平成23年度は集計・解析作業、そして平成24年度は分析の深度化調査等を行う。具体的方法については実態調査では三大都市圏の対象駅・バスターミナルにおいて利用者調査を実施し、更に交通事業者に対して定期券発売実績調査、OD調査、輸送サービス実態調査を実施、その他、駅における乗換施設の実態及び鉄道・バス間の乗換施設について実態調査を実施する。集計・解析作業についてはサンプルデータから全利用者数への拡大推計を実施。そして分析の深度化調査では課題やニーズに対する分析を国勢調査等の他の統計調査を活用し行う。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	-	122	129	76	
			補正予算	-	0	0	0	
			繰越し等	-	0	0	0	
			計	-	122	129	76	
		執行額		-	122	55		
執行率(%)		-	100	42				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
		①統計の情報提供量(収録ファイル数)		成果実績 件	①約7,000	①約10,000	①約10,500	①約14,800
		②ホームページのアクセス件数(HPアクセス件数)			②約513,000	②約915,000	②約910,000	②約960,000
		達成度		%	①約47%	①約68%	①約71%	
					②約53%	②約95%	②約95%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		鉄道利用者調査票及びバス・路面電車利用者調査票回収数		活動実績 (当初見込み) 枚	-	371,330	-	-
					-	(320000)	-	(-)
単位当たりコスト		147(円/枚)		算出根拠	枚:集計・解析作業に用いた平成22年度調査票回収枚数371,330枚 円:統計調査費55百万円(調査データの集計・分析、報告書の作成費用)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1百万円						
	職員旅費	0.3百万円						
	統計調査費	75.8百万円						
	計	76百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏における大量公共交通機関の利用実態を把握し、広域交通圏における公共交通施策の検討に資する基礎資料の作成を目的としており、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	平成23年度実施の集計・解析作業については一般競争入札を実施。3者による入札から業者を選定し、競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成22年に実施した「第11回大都市交通センサス」の調査結果については、平成23年度末に集計結果について報告書を公表、平成24年度末に分析結果について報告書を公表予定。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>鉄道利用者調査のインターネットによる回答数は、前回調査(平成17年度)と比較して約3倍に増加したものの、回収数全体ではまだ1割程度であり、今後は更なるインターネット回答の利用促進を図り、コスト低減に努める。 また、効果的な広報等により十分な周知を行い、回収率の向上を図り、調査票の配布枚数の減少を図るといったコスト削減努力の検討を進める。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	47

※平成23年度実績を記入

国土交通省
55百万円

職員旅費
0.1百万円

〔職員旅費〕

↓ 【一般競争入札】

B. 応用技術(株)
55百万円

〔調査票データの集計、分析、報告書の作成〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.応用技術(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査データの入力・修正・補完・拡大、集計データ作成、集計・分析、報告書作成	32.5			
	委員会運営	6.1			
物件費	製本印刷、発送	7.5			
その他	委員会運営経費	4.7			
	旅費	1.5			
	消費税	2.6			
計		55	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用技術(株)	調査データ入力・修正・補完・拡大、集計・分析、マスターデータの作成、報告書作成	55	3	42
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					